



大画面のハンドクラフト色褪せぬ建築のレガシー



主催：INAX ライブ
ミュージアム
企画：INAX ライブ
ミュージアム企画委員会
展示協力：
カゴメアクシス株式会社
中部日本ビルディング
株式会社
株式会社ナゴヤ
キャッスル
株式会社 丸栄
展示デザイン：
十建築設計 田代朋彦
会場グラフィック：
kobito inc.

※新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため
会期、関連イベントの
内容等を変更する場合
があります。当館ホー
ムページから最新情報
をご確認ください。

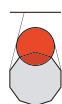
壮観!

ナゴヤモザイク壁画時代

会
期

2021.11.6(土) - 2022.3.22(火)

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130
TEL : 0569-34-8282 FAX : 0569-34-8283
<https://livingculture.lixil.com/ilm/>
INAX ライブミュージアムは LIXIL が運営する文化施設です。



壮観！ナゴヤモザイク壁画時代

SPECTACULAR!
NAGOYA'S
GOLDEN ERA OF
MOSAIC MURALS

2021.11.6(土) - 2022.3.22(火)

会場: INAXライブミュージアム
「土・どろんこ館」企画展示室

開館時間: 10:00am ~ 5:00pm (入館は 4:30pm まで)

休館日: 水曜日(祝日の場合は開館)、

2021年12月27日(月) ~ 2022年1月5日(水)

共通入館料: 一般: 700 円、高・大学生: 500 円、

小・中学生: 250 円(税込、各種割引あり)

関連イベント
「ナゴヤのモザイク壁画めぐり
見つけて見つめて魅力再発見」

日時: 2022年1月29日(土) 5:00-6:15pm

講師: 森上千穂[モザイク愛好家]

場所: INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」内

※詳細、お申込み方法等については当館ホームページを
ご覧ください。 <https://livingculture.lxil.com/ilm/>

原画: 脇田和 1969年、所蔵: INAXライブミュージアム 実資料、撮影: 益永研司



中部日本ビルディング(旧中日ビル) /
《夜空の饗宴》

原画: 矢橋六郎、
1966年、
画像提供:
大垣市教育委員会



(表面写真)
愛知県西庁舎 /
《大樹》または《広がる愛知》
原画: 矢橋六郎、
1964年、
撮影: 益永研司

※現存する事例については、
鑑賞・観覧を目的とする立
入や撮影を禁止している施設
もあるため、事前に施設管理
者にご確認ください。

フライヤーデザイン:
鮎沼恵一

ひとつの壁を覆いつくすほどの大画面。近づけば、タイルやガラス、石の小さなパーツが無数に並ぶモザイク壁画です。点描画のように彩られた建築装飾は、たとえそれが大胆な構図であっても、時間とともに不思議と日常の風景に溶け込んでいます。

高度経済成長期、名古屋とその周辺ではさまざまなモザイク壁画による装飾文化が華ひらきました。たとえば、建築家・村野藤吾が手がけた旧丸栄百貨店本館外壁、画家・矢橋六郎による愛知県庁西庁舎ロビー、画家・北川民次による建築と一体となった瀬戸市立図書館の壁画…。半世紀もの時を経て建替えなどにより失われたものも少なくありませんが、その輝きは今も色褪せることはありません。

本展では、1950年代後半から70年代にかけて、ナゴヤのモザイク壁画黄金期につくられた珠玉の17事例を、撮り下し写真のほか、中部日本ビルディング(旧中日ビル)の天井画(部分)、そして近年当館が収蔵し初披露する旧ホテルナゴヤキャッスルや旧カゴメビルのロビーの壁画(いずれも部分)などの実資料とともに紹介します。どれも素材の表情、巧みな色使い、密度の高い手仕事に目を見張ることでしょう。

この街の魅力のひとつである、豊かなモザイク壁画の世界に触れる機会となれば幸いです。

A large-scale picture covers an entire wall. A closer look reveals it to be a mosaic mural, composed of countless ceramic tiles, pieces of glass, or small stones. As an architectural decoration, mosaic murals use dots of color like a pointillist painting, often in eye-catching compositions. Even so, they have an odd way of blending with everyday scenery.

In the days of rapid economic growth, mosaic murals bloomed in Nagoya and its surroundings. Examples are the outer wall of the former Maruei Department Store designed by architect Togo Murano, the Aichi Prefectural Office West Annex lobby by artist Rokuro Yabashi, and the mural in the Seto City Library by artist Tamiji Kitagawa. Many murals have been lost over the past half century as buildings have been rebuilt, but those surviving still now retain their original splendor.

This exhibition will feature murals created in Nagoya's golden era of mosaic murals from the late 1950s to 1970s. Photographs of 17 exquisite murals will be displayed along with 3 actual murals from that time. These latter include the ceiling mural (fragment) of the former Chunchi Building and two murals in the collection of INAX Museums—the lobby mural (fragment) of the former Hotel Nagoya Castle building and lobby mural (fragment) of the former Kagome Building, both of which will be shown for the first time, having been acquired in recent years. In every case, the murals astonish us with the beauty of their materials, their masterful handling of color, and their detailed handiwork.

The exhibition will offer a precious opportunity for contact with the rich world of mosaic murals—a fascinating aspect of Nagoya.



山口銀行旧名古屋支店 / 《城を築く》(部分)
原画: 中村順平、1966年、撮影: 益永研司



瀬戸市立図書館 / 《知識の勝利》(左)、《無知と英知》(右)
原画: 北川民次、1970年、撮影: 益永研司



旧カゴメビル / 《TOMATO》 原画: 北川民次、1962年



INAXライブミュージアムへのアクセス

バス 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より
知多バス「知多半田駅」行き
「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分

お車 (乗用車・バス駐車場完備)
名鉄線「常滑駅」より約6分
中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)
セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分
知多半島道路「半田IC」より約15分

INAXライブミュージアム 〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL: 0569-34-8282 FAX: 0569-34-8283 <https://livingculture.lxil.com/ilm/>
INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。

★感染症拡大防止対策について マスクの着用、検温にご協力ください。当館での新型コロナウイルス感染拡大防止策についてはホームページをご覧ください。